

6年分科会 研究構想図

【これまでの研究の成果 (○) と課題 (●)】

- 意見文、思考ツールなどを活用した表現活動の工夫
- 育てたい子供の姿の明確化
- 見通しや振り返りを大切にする授業づくり
- 自分と社会のつながりや、人の姿が見える教材開発
- 児童自ら資料を用意したり、子供同士で考えを深めたりする「主体的・対話的で深い学び」の実現の更なる充実
- 子供の反応分析を活用した学習評価の方法

【6年社会科の課題 (◆) と方向性 (◇)】

- ◆限られた時間数での目標の実現や内容の充実
- ◆子供が問い続けるための資料提示や調べる時間の学習活動の充実
- ◇子供主体の問題解決的な学習を保障する授業づくり
- ◇子供が学習の内容をどのように生活に生かそうとしているかという見取り
- ◇見通しと振り返りの充実

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する社会科学習～

目指す子供像

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解を基に、社会的事象の意味や特色について多角的に考え、我が国の未来を考えようとする子供

研究の仮説

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解につながる問いや、学習したことを基によりよい社会をつくらうとする問いをもてるように教材や学習活動を工夫すれば、多角的に考え、我が国の未来を担う国民としての自覚をもとうとする子供が育つであろう。

研究の内容

主体的に追究する問いの工夫	見方・考え方を働かせる学習活動の工夫	子供の学びを確かにする評価の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○問いの分類と連続性や構造化 ・单元内、单元相互における問いの関連性の工夫 ・議論を通して考えを深める問いの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較・分類・統合したり総合したりして、国民(地域)の生活と関連付けて考える学習活動の工夫 ○対話を通して多角的に考える学習活動の工夫 ・社会における対立や矛盾、葛藤を感じる場の設定 ・多様な価値について立場を決めて話し合う場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しと振り返り(集団的学習調整)の工夫 ・ノートやワークシートの書かせ方、見取る場面の設定 ・既習を生かして新しい問いを見出す場面の設定
教材開発や教材分析の視点		
<ul style="list-style-type: none"> ○時間的・空間的・相互関係的な視点から視野を広げる教材開発 ・現在の社会につながる歴史的人物の働き ・安定した社会づくりに関わる仕組み ○社会の課題を把握し、発展や関わり方を考えることにつながるような教材の工夫 ・多様な価値が見出せる教材 		

